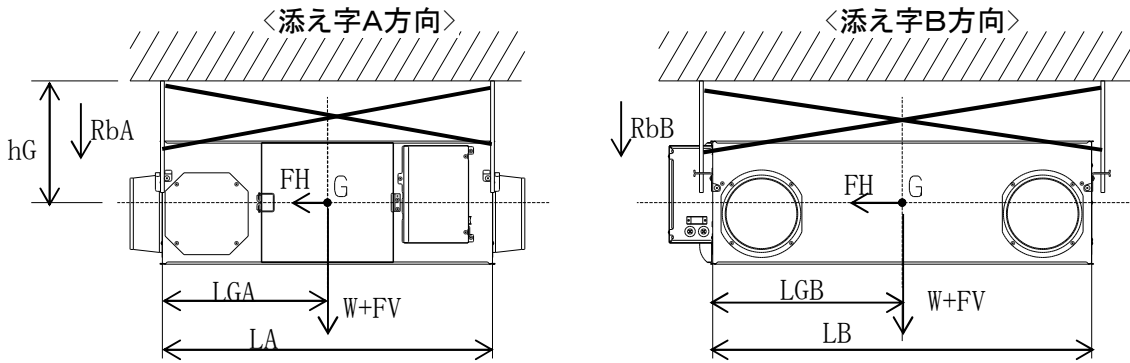


■業務用ロスナイ LGH-N15RS(D),RX(D) 耐震強度検討書



<計算条件>

製品質量	W =	22.0	kg	ボルトから重心	LGA =	384	mm
重心高さ	hG =	500	mm	までの距離	LGB =	329	mm
ボルトスパン	LA =	768	mm	ボルトサイズ		M10	
	LB =	658	mm	ボルト総本数	n =	4	本
				片側ボルト本数	nt =	2	本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果				
設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0
設計用水平震度	KH=KS×Z	1.0	1.5	2.0
設計用水平地震力	FH=KH×W	0.22	0.32	0.43
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	0.11	0.16	0.22
アンカーボルト引抜き力		・ボルトスパンA側(RbA) 0.15 kN 0.20 kN 0.25 kN ・ボルトスパンB側(RbB) 0.16 kN 0.22 kN 0.27 kN		
アンカーボルトせん断応力度		A: ボルト断面積 M10 0.55cm ²		
$R_b = \frac{FH \times hG + (W \times 9.8 + FV) \times (L - LG)}{L \times n_t}$ * L: LA又はLB、LG: LGAまたはLGB		0.10	0.15	0.20
各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率 (コンクリート厚さ120mm以上)				
あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形) 埋込長さ45mm	短期許容引抜荷重: 3.8 kN	23.3	17.5	14.0
各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率				
ボルト(SS400)	短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm ²	103.1	68.7	51.5
ステンレスボルト(A2-50)	短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm ²	93.1	62.0	46.5
以上の計算結果において、上記アンカーボルトM10はいずれも十分な強度を有する				

- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。
- ・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。
- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」に遵守した施工をお願いします。

N13HBGT0216A